

ブレインマークス代表取締役 安東 邦彦氏

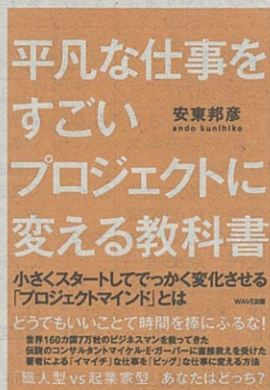
著者は語る

「平凡な仕事をすごいプロジェクトに変える教科書」

本書を読んでほしい人はたくさんいますが、その中の一人が、24歳で起業した当時の自分です。経験も浅く、勘所もわかっていない未熟な自分にとって、会社経営は暗闇の中にほうり出されたも同然でした。常に不安なためにがむしゃらに仕事をしていましたが、根拠も自信もなく、目標すら見えない日々でした。その会社は順調に成長したものの、結局最後には手放すことになってしまいました。

その後、現在のブレインマークスを立ち上げ、中小企業の経営コンサルタントとしてさまざまなクライアントに出会うようになりました。そして驚いたのは、多くの社長やリーダーたちが、起業した当時の私と同じ状況に立たされているという実態です。みなさん、夢や希望を抱いて起業したり、親から事業を受け継いだ方たちです。にもかかわらず、当初の理想は二の次になって、日々の業務を回すことだけで手いっぱいになってしまっている。これでは次第に、楽しかったはずの仕事が、自分を追い詰めるつらい存在になっ

▷1470円
▷WAVE出版



あんどう・くにひこ ブレインマークス代表取締役。24歳で通信販売会社を設立し、1997年からITベンチャー立ち上げに参画。2001年、コンサルティング会社、ブレインマークスを設立。世界的に著名なコンサルタント、マイケル・B・ガーバー氏の指導を直接受け、経営者、起業家、リーダーに対する研修やコンサルティングを行っている。これまでに支援した企業は500社以上。

会社経営に必要な「地図」と「コンパス」

てしまいます。

そんな経営者のコンサルティングをしていくうちに私がかどり着いた答えは、旅と一緒に会社経営にも「地図」と「コンパス」が必要だということです。「地図」は、どういう道を通

りどこへ向かうかを示すもので、本書でいうところのプロジェクトの計画、未来の組織図、マニュアル化などを指します。

「コンパス」は、今どちらに向かって進んでいるかを示してくれるもので、本書でいうとこ

ろの、プロジェクトのビジョンと価値観、そしてそれらを共有し、共感してくれる社内パートナーです。

このふたつが必須ということは、経営者だけでなくプロジェクトリーダーにも言えます。こ

の本に書かれた「地図」と「コンパス」があれば、いつでもあなたは自分が目指す場所がわかり、そこへの道のりを把握することができるようになります。迷うことがあったら、ぜひこの本を読んでください。